

全財務局 管内経済情勢報告

(参考)

	前回 (平成31年4月判断)	今回 (令和元年7月判断)	前回との 基調比較	全局総括判断の要点
全局総括	生産の一部に弱さもみられるが、回復している	回復している	→	個人消費は、ドラッグストア販売が好調に推移しているほか、コンビニエンスストア販売等が堅調に推移している。生産活動は、輸送機械の生産が堅調な一方、中国経済の減速等の影響を受け一部業種で生産が横ばいの状況にある。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、引き続き改善している。
財務局名	前回 (平成31年4月判断)	今回 (令和元年7月判断)	前回との 基調比較	各財務局の総括判断の要点
北海道	緩やかに回復している	緩やかに回復している	→	個人消費は、コンビニエンスストア販売が順調となっているほか、ドラッグストア販売が前年を上回っているなど、緩やかに回復している。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が広がっている。観光は、拡大しつつある。
東北	回復しつつある	回復しつつある	→	個人消費は、スーパー販売が主力の飲食品で堅調であり前年並みとなっているほか、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が前年を上回っていることから、緩やかに回復している。生産活動は、電子部品・デバイスがスマートフォン向けで一部に持ち直しの動きがみられるほか、輸送機械が乗用車で堅調に推移していることから、緩やかに持ち直している。雇用情勢は改善している。
関東	生産の一部に弱さもみられるが、回復している	回復している	→	個人消費は、百貨店販売額及びスーパー販売額が前年を下回っているものの、コンビニエンスストア販売額及びドラッグストア販売額が前年を上回っているなど、全体として回復しつつある。生産活動は、汎用機械などが減少しているものの、輸送機械、生産用機械が増加しているなど、全体として緩やかに持ち直している。雇用情勢は、改善している。
北陸	緩やかに拡大しつつある	緩やかに拡大しつつある	→	個人消費は、ドラッグストア販売が好調となっているほか百貨店・スーパー販売が緩やかに回復していることなどから、全体としては緩やかに拡大しつつある。生産活動は、化学が拡大しているほか、生産用機械が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスが足踏みの状況にあり、全体としては拡大の動きに一段感がみられる。雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が強まっている。
東海	緩やかに拡大している	緩やかに拡大している	→	個人消費は、コンビニエンスストア販売及びドラッグストア販売が増加しているほか、乗用車販売や家電大型専門店販売が持ち直しているなど、全体では回復している。生産活動は一部に弱い動きがみられるものの、輸送機械を中心に緩やかに拡大している。こうしたなか、有効求人倍率が引き続き高水準となっているなど、労働力需給は引き締まっている。
近畿	緩やかに拡大しつつある	緩やかに拡大しつつある	→	生産活動は、生産用機械等が低下しているなど回復のテンポが緩やかになっているものの、個人消費はコンビニエンスストアやドラッグストア等の販売が堅調となっているなど緩やかに回復しており、雇用情勢も一層の改善が進んでいる。
中国	緩やかに回復している	緩やかに回復している	→	個人消費は、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が好調であるなど回復しつつある。生産活動は、輸送機械が高操業を維持しているなど緩やかに回復している。雇用情勢は着実に改善し、人手不足感が一段と広がっている。
四国	緩やかに回復している	緩やかに回復している	→	個人消費は、スーパーが堅調な動きとなっているほか、乗用車販売などが前年を上回っており、また、観光においても好調となっていることから、全体としては回復しつつある。生産活動は、電気機械で引き続き電子部品向けの需要が減少しているものの、プラスチックで小売店向けの需要が増加していることから、全体としては、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、改善しており、人手不足感が広がっている。
九州	生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している	緩やかに回復している	→	個人消費は、天候要因等の影響で百貨店・スーパー販売が伸び悩んでいるものの、コンビニエンスストア販売が順調なことなどから、回復しつつある。生産活動は、海外需要等を背景に回復している。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど改善しているなかで、人手不足感が高まっている。
福岡	回復している	回復している	→	個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を下回っているが、コンビニエンスストア販売額、乗用車新車登録・届出台数、ドラッグストア販売額などが前年を上回るなど、回復している。生産活動は、自動車向け海外向けを中心に足下の生産が弱含んでいるなど、回復のテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、有効求人倍率が引き続き高水準で推移するなど、改善している。
沖縄	拡大している	拡大している	→	個人消費は、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアの販売額が堅調に推移するなど、拡大している。観光は、入城観光客数が増加するなど、拡大している。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善している。

(注) ※ 令和元年7月判断は、前回平成31年4月判断以降、7月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。  
 ※ 下線部が基調判断。